

「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」

2019年度 柳津町立会津柳津学園中学校

学校だより

平成31年4月19日(金)発行 第 3 号 発行責任者:高橋 弘悦

合同避難訓練実施

16日、柳津小学校と合同の避難訓練を行いました。中学校調理室から出火を想定しての訓練です。折からの西風にあおられて、小学校にも延焼の恐れがあるとのことで、中学校北側に全員が避難した後、小学校低学年の手を引いて2次避難場所である校門に避難しました。



今回の避難訓練には、2つのねらいがあります。一つは、年度初めにあって、避難経路を確認すること。2つ目は、中学生の自覚を高めることです。

人間不思議なもので、いざというときには考えるよりも体が先に動きます。「逃げなければ…」という意識がはたらくと、避難経路を考えるより、経験したことのある経路を無意識にとることが多いようです。だからこそ、この時期の避難訓練が大切になります。

また、中学生は身体も大きくなり、それまでの保護される立場から、保護する立場にまわることも想定されます。まずは、自分の身を守ることが第一ですが、それが確保されたら、次に要請されるのは保護・援助の方にまわることです。

短時間で、立派に終わることができた避難訓練ですが、生徒の皆さんには小学校で行っていた避難訓練と比べて、さらに重要性が増してきていることを自覚して欲しいものだと思います。

シミュレーターを用いて 交通安全教室

10日、町交通指導員 目黒さん、会津坂下警察署の署員の方をお招きして交通安全教室を開催しました。

警察の方には、自転車の安全な乗り方を中心に指導していただきましたが、シミュレーターを使って実際に即した指導をしていただきました。これまでにない試みで、全生徒が興味津々で参加することができました。



朝練習をしています

今年度から両沼陸上競技大会がなくなり、全会津陸上競技大会に一本化されました。これまでは十分な練習をする時間がなく大会に臨んでいましたが、一本化に伴い練習の期間を確保することができましたので、朝の時間を利用し、全校生で練習に励んでいます。

バス時間の関係で開始時間は8:00からになりますが、短い時間を利用して生徒たちは精力的に陸上練習に参加しています。

なお、全会津陸上競技大会は、5月15、16日会津陸上競技場にて開催されます。応援よろしくお願いいたします。



「わからないこと、できないこと」を用意します！

入学式の式辞で、『学校では、「出会い」「わからないこと、できないこと」「行動する場や機会」を用意します。』とお話しました。

学校は本来学ぶところで、以前ならば「わからない、できないこと」を「わかる、できるようにします」とお話しするところです。でも、今は学校についての考え方が徐々に変わりつつあります。

かつて新たな知識を学ぶところといえば学校に限られていました。最先端の設備が備えてあるのも学校ですし、理想の生活を垣間見せてくれるのも学校でした。でも今は新聞、テレビなどもとより、インターネットの普及で知りたい情報は瞬時に調べることができます。設備についても、学校よりも豪華なオーディオ機器やシアターを備えたご家庭もあります。

専門的に学びたいものがあれば、今はカルチャースクールもありますし、英会話スクールなど、分野に特化したスクールがあります。学ぶ場は、学校よりもむしろ学校の外に移りつつあるといえます。では、学校の役割は…？

家庭にいて身につけることができないものに、人とかかわりがあります。教育を受ける究極のねらいを、社会に貢献できる、社会で生活できるとするならば、必要なことは人と人との関わりを通してコミュニケーション能力を身につけること、人と協働して何かを成し遂げること、自分なりの考えをもって行動できるようになることだと思います。これらのことは、「出会い」を通してしか実現することができません。

知識は、今の世の中どのようにしても手に入れることができますが、必要性を感じなければ人間は動けないものです。そこで、学校では「何ができて、何ができないのか」「今学ぶべきことは何なのか」に気づかせることが必要になると思うのです。

その上で、学校では、さまざまな行事や活動を準備し「行動する場や機会」を準備したいと思っています。

社会で活躍するためには、教科の基礎的な知識や理解は必要ですが、それ以上に大切なのは「学ぼうとする力」「学んでいく力」「協働する力」です。会津柳津学園中学校では、これらの力にも着目し、高めていきたいと思っています。

